各　位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

# 浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
## (2023年8月分)

ご協力ありがとうございました。2023年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社　　回答 139社　回答率 97.2%

| | 前　月　比 | | | | | | 前　年　同　月　比 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 調査項目 | 10%以上増加・上昇・好況 | やや増加・上昇・好況 | 横這い・平常 | やや減少・下降・不況 | 10%以上減少・下降・不況 | 計 | 10%以上増加・上昇・好況 | やや増加・上昇・好況 | 横這い・平常 | やや減少・下降・不況 | 10%以上減少・下降・不況 | 計 |
| 売上数量 | 5社<br>3.6%<br>(5.9) | 15社<br>10.8%<br>(11.8) | 43社<br>30.9%<br>(30.9) | 43社<br>30.9%<br>(33.8) | 33社<br>23.7%<br>(17.6) | 139社 | 16社<br>11.6%<br>(8.9) | 22社<br>15.9%<br>(13.3) | 36社<br>26.1%<br>(30.4) | 35社<br>25.4%<br>(30.4) | 29社<br>21.0%<br>(17.0) | 138社 |
| 売上高 | 7社<br>5.0%<br>(5.1) | 13社<br>9.4%<br>(11.8) | 40社<br>28.8%<br>(28.7) | 44社<br>31.7%<br>(35.3) | 35社<br>25.2%<br>(19.1) | 139社 | 21社<br>15.2%<br>(11.9) | 21社<br>15.2%<br>(19.4) | 36社<br>26.1%<br>(26.9) | 36社<br>26.1%<br>(25.4) | 24社<br>17.4%<br>(16.4) | 138社 |
| 在庫数量 | 2社<br>1.5%<br>(3.8) | 12社<br>9.1%<br>(18.5) | 87社<br>65.9%<br>(53.8) | 25社<br>18.9%<br>(20.0) | 6社<br>4.5%<br>(3.8) | 132社 | 10社<br>7.6%<br>(10.2) | 15社<br>11.5%<br>(13.4) | 56社<br>42.7%<br>(45.7) | 30社<br>22.9%<br>(18.9) | 20社<br>15.3%<br>(11.8) | 131社 |
| 販売単価 | 2社<br>1.5%<br>(2.2) | 3社<br>2.2%<br>(5.9) | 100社<br>73.0%<br>(67.4) | 30社<br>21.9%<br>(24.4) | 2社<br>1.5%<br>(0.0) | 137社 | 15社<br>11.0%<br>(13.5) | 34社<br>25.0%<br>(24.8) | 54社<br>39.7%<br>(43.6) | 25社<br>18.4%<br>(16.5) | 8社<br>5.9%<br>(1.5) | 136社 |
| 収益状況<br>(粗利) | 4社<br>2.9%<br>(3.0) | 11社<br>8.0%<br>(8.1) | 60社<br>43.8%<br>(37.8) | 43社<br>31.4%<br>(35.6) | 19社<br>13.9%<br>(15.6) | 137社 | 8社<br>5.9%<br>(7.5) | 18社<br>13.2%<br>(10.5) | 43社<br>31.6%<br>(34.6) | 35社<br>25.7%<br>(24.8) | 32社<br>23.5%<br>(22.6) | 136社 |
| 稼働率<br>(生産・<br>加工設備) | 2社<br>1.7%<br>(1.7) | 11社<br>9.3%<br>(10.3) | 51社<br>43.2%<br>(50.0) | 40社<br>33.9%<br>(28.4) | 14社<br>11.9%<br>(9.5) | 118社 | 7社<br>6.0%<br>(7.0) | 14社<br>12.0%<br>(13.9) | 47社<br>40.2%<br>(47.8) | 34社<br>29.1%<br>(20.0) | 15社<br>12.8%<br>(11.3) | 117社 |
| 入出庫の<br>トラック台数 | 2社<br>1.5%<br>(0.8) | 10社<br>7.7%<br>(9.2) | 61社<br>46.9%<br>(48.5) | 39社<br>30.0%<br>(33.1) | 18社<br>13.8%<br>(8.5) | 130社 | 8社<br>6.2%<br>(5.5) | 15社<br>11.6%<br>(11.0) | 57社<br>44.2%<br>(49.6) | 32社<br>24.8%<br>(20.5) | 17社<br>13.2%<br>(13.4) | 129社 |
| | 現在の景況感 | | | | | | ３ヶ月後の景況予測 | | | | | |
| | 0社<br>0.0%<br>(0.0) | 7社<br>5.3%<br>(3.9) | 60社<br>45.1%<br>(43.8) | 44社<br>33.1%<br>(39.1) | 22社<br>16.5%<br>(13.3) | 133社 | 0社<br>0.0%<br>(1.6) | 24社<br>18.2%<br>(17.2) | 87社<br>65.9%<br>(65.6) | 18社<br>13.6%<br>(13.3) | 3社<br>2.3%<br>(2.3) | 132社 |
| 特記事項 | | | | | | | | | | | | |

注　①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②(　)内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局　TEL：047-350-5311　FAX：047-350-5316

# 景況実感調査(2023 年 8 月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

## 薄板・表面処理鋼板

① 8 月は大型連休前の駆け込みもなく日当たりベースでも減少して、順調であった分野も世界経済減速の影響を受け下方修正するなど、じわりじわりと日本経済にも影響が及んでいる。
② お盆もあり、前後の受注に期待していたが伸びず。価格もじりじり下がっており、下期に向けて明るい話題がない。
③ 受注状況は横這い継続。10 月以降の見通しは立たない。
④ 8 月の販売は、引き続き動きが悪いままだ。そして、お盆休みもあり、明けても一向に良くならない。下期(10 月以降)に需要は上向くという見方もあるようだが、自動車以外、好転する分野は見当たらず、低迷期は継続するものと思われる。

## 中板

① 東京製鐵の売り出し据え置きも相場は引き続き弱基調が続く。販売単価はじりじりと安値に。しばらくはこの状況が続く見込み。
② 建築向けの不振が続いていて需要は乏しいままである。市況も安い輸入材の影響を受け、いまだに底値が定まらない。数量と粗利のダブルパンチで厳しい状況が続いている。

## 厚板

① ＜全体感＞厚板を扱う各分野においては、前月と状況は変わらず総じて低調。首都圏の大型再開発物件の本格化は 2025 年以降にずれ込んでいる。全国厚板シヤリング工業組合まとめの 7 月の切断量は 12 万トンで、今年 2 月以来の低水準であった。主要地区での流通加工業者の稼働は総じて落ちている。＜分野別＞建機分野では、23 年度は前年度比で同水準か若干弱含みの計画であったが、ここへ来て中小型のコンストラクション系で計画を下方修正する動きが拡大。産機分野は米国や中国等の景気減速を受けた調整局面が続いているうえに、これまで好調であったレーザー切断機の需要にも陰りが見え始め、下期後半に向けて生産調整を行うとの情報もある。店売り分野では、厚板の市中在庫は減少傾向が続いているものの、切断量の減少と価格低迷で、流通加工業者の収益力は大きく低下している。
② 6 月から東鉄ショックが継続中。荷動き、先の見通しは過去最低レベル。
③ 建設機械は好調を維持していたが、在庫調整もありやや減少傾向にある。店売り関連は人手不足の影響で延期、中止等もあり売上も減少している。
④ 仕事的には低位横這い。街中の仕事はやはり低調のままである。
⑤ 下期に入れば荷動きがいくらか好転することを期待している。

## 一般形鋼・H形鋼

① 前月比、各調査項目すべてが横這いであった。前年の 7，8 月との対比も横這いであった。ちなみに例年は 9 月から売上高が年末にかけてやや増加している。今年もそうなることを願いたい。

② メーカーの販売姿勢に大きな変化はないが、荷動きが低調な中、何とか販売単価を維持している。ただ、指値はきびしくなっており、一部では安値受注も散見されている状況。

③ 大型物件は動き出してくるが、中小物件が出てこない。公共物件が出てこないので、鋼材の動きが鈍っている。

④ H形鋼の荷動きとしては堅調な推移で、市中在庫に歯抜けが散見される中、先々の不透明感からか市況はじり安傾向と認識。一般形鋼は引き続き需給バランスに難あり、安値が徐々に広がる状況。不採算品種になってしまっており、マーケット全体で需給に見合った在庫調整が必要と考える。

## 異形棒鋼

① 8 月は、予想していた通りこの一年で最も悪い数字となった。価格を 9 月から 2 円/Kg 下げることとした。動きは調整なのか、流れが変わったのか分からない。秋需はある程度出ると考えている。

② 猛暑が続き本年の 8 月は例年以上に荷動き不振であった。需要減の影響もあって市況は修正安となったが、メーカーの姿勢から判断すると調整の範囲内と思われる。

## 平鋼

① 稼働日が少なく盆明けも荷動きは悪いままだった。今月に入っても動きは変わらず決まっている物件は動いているものの中小物件が少なく、当面この状態が続くのではないか。

② 8 月の店売りは夏季休暇もあり、倉出し出荷は 7 月と比べて稼働日分のマイナスとなった。社内加工も小口中心の案件が多く数量は伸びない。9 月は多少まとまった物件もある。秋口以降の情報を取っていくようにし、数量の確保をしていく。

## 軽量形鋼

① 中小物件の少なさから先行き不透明感が続いてしまっているが、増えて来そうな雰囲気も一部あるので期待して商売していきたい。

## 鋼管

① 前月に比べて日割り出荷は若干増加したが、数量、売上ともに前年から大きく減少し、市況も軟化しており今月の景況感は特に悪い。

② 8 月はお盆休業期間(6～8 日間)もあり、予想通り荷動きは低調に終わった。休み明けの引合いも強くない。首都圏の大型物件の端境期が続いており、環境回復は下期以降との情報が多い。ただし、価格水準は変化なし。

## 構造用鋼

① 需要については、自動車の回復はメーカー、車種により濃淡があるが関東地区では影響が感じられない。大型建機は依然として堅調も、中小は迫力を欠く。工作機械、産業機械も調整模様。店先は低調な状態が続く。在庫は販売量が伸びず多めの状態。価格は量がまとまると一部で安値も散見されるが、概ね採算重視で現行価格を維持の商い。

## 磨棒鋼

① 自動車向け紐付き品は一進一退の状況で、本格的な出荷の回復には程遠い。建機向けは安定しているものの、中国国内の景気懸念もあり楽観できない。店売りは低位で推移。地域により景気に差が出ており、特に東北地方の状況が芳しくない。

## その他

＜普通線材＞

①依然として足下の荷動きは精彩を欠いている。公共事業も建築関連も秋口からは需要期に入る。現行値横這いを維持し、秋需に期待したい。

＜鉄スクラップ＞

① 荷動きも値動きも少ない 8 月だった。市況に関しては国内高、海外安の状況が続いていて、ここ最近の動向としては需給のバランスではなく、いかに海外へスクラップを輸出させないようにするかで相場が動いている。世界的に貴重な資源となったスクラップ。今後は、海外の経済活動が回復し活発になった時、どうなってしまうのかも今後の不安要素。

＜金属表面処理＞

① 8 月は、繁忙感はなかったが 9 月に入りバタバタと忙しくなってきた。今後も規模の大きい鉄骨案件へのブラスト加工も予定しているので、操業率は高いと思われる。気掛かりなのは原油高による塗料の値上げである。